

JPEC World Report

欧州 2026 年 7 月版

ハイライト

➤ 政策動向

- 再エネ推進に向けた再エネ貯蔵能力拡大に関して、欧州委員会・EU 加盟国・民間が連携。
- フランスでは洋上風力向け支援を拡大。EU 低所得国の脱炭素化等に対する ETS 収益分配による支援も継続されている。
- EU ETS の見直し案が公表。全体的には内容が緩和されているが、一部国際線が対象となるなど範囲拡大に関する内容も含まれる。

➤ 企業動向

- Repsol が、Toyota 等と共同でバイオベース再生可能ガソリンの実証テストを開始。ORLEN がスロバキアでの HVO 100 の販売を開始。
- 水素・合成燃料分野では、INERATEC から自社プラントの ISCC 認証取得や e-ディーゼルの性能評価状況の公表があった。OMV は、140MW 級のグリーン水素プロジェクト向け融資を獲得。
- Technip Energies、Neste 等が廃プラスチックの標準ソリューションの商用販売を開始。
- ENI は英国での核融合関連事業に参入した。

➤ 石油需給

- 中間留分クラックが引き続き高いことから、欧州製油所の原油処理量は前月並みの稼働率を維持。
- 足元の高稼働、およびファクト燃料需要を押し上げる要因を背景に、欧州のファクト燃料在庫は積みあがっている状態で、直近の供給リスクは低い。
- 中東品からの代替調達等で、米国からの輸入比率が増加している。米国の原油等の在庫水準は大きく低下している。



この記事は、賛助会員・情報提供サービス購読者限定です。
お申し込み後、続きをご覧くださいのための閲覧用パスワードをお送りします。

賛助会員・情報提供サービス購読者の方は、
下のボタンから続きをご覧ください。

続きを読む

◆情報提供サービスのお申込みはこちら>

◆賛助会員については、こちらからお問い合わせください>

JPEC World Report

米州 2026 年 7 月版

概 況

◆米国・イラン両国が軍事行動を即時終結する 14 項目の覚書で合意した 6 月 18 日、トランプ大統領はイラン指導部の判断を評価し、自ら署名した合意内容に自信を示したが、6 月下旬以降に双方は再び攻撃を激化した。

◆WTI 原油先物価格は、6 月最終週は 1 バレル当たり 69 ドルから同 78 ドルの間で推移した。ホルムズ海峡通過タンカーの増加を背景に WTI は 24 日 69 ドルに下落し、約 4 カ月ぶりの安値を記録した。しかしながら、ホルムズ海峡情勢に関しては 25 日イランが通過貨物船を攻撃したとの報道が流れ反騰したが、正常化すると観測が価格を押し下げた。

◆7 月に入ると、米エネルギー情報局（EIA）が「原油市場は供給過剰に戻り、価格引き下げ圧力が形成される」との予測を発表したが、米国がイラン攻撃を再開、情勢は再び不透明化した。WTI 先物は 7 月第 2 週以後、1 バレル 72 ドルから 82 ドルの間で推移、原油供給が減少するとの観測から、原油価格は約 1 カ月減に高値に転じた。



この記事は、賛助会員・情報提供サービス購読者限定です。
お申し込み後、続きをご覧くださいのための閲覧用パスワードをお送りします。

賛助会員・情報提供サービス購読者の方は、
下のボタンから続きをご覧ください。

続きを読む

◆情報提供サービスのお申し込みはこちら >

◆賛助会員については、こちらからお問い合わせください >

JPEC World Report

中国 2026 年 7 月版

ハイライト

◇5月の市況概況 ※6月の統計データは7月末に更新されるため、次号にて掲載予定

- 原油は、生産量約 1,800 万トン(横ばい)、輸入量は 3,300 万トン(前月比 500 万トン減)。輸入量が 2 カ月連続で大幅に減少。
- 石油精製品(ディーゼル燃料・ガソリン・ケロシン・燃料油)は、ディーゼル燃料の生産量が前月比 200 万トン近く減少。
- 製油所稼働率は、国営石油会社が 70%(前月比で +0.9 ポイントと微増)であるのに対して、地方製油所は 52%(前月比 6 ポイント近く下落)。

◇6月の主な業界動向

- グリーン化（環境対応）の進展：非化石燃料由来の電力消費を計算するためのガイドライン導入やグリーン水素・アンモニアの一体型生産、AI を搭載した太陽光・蓄電システム、バイオ天然ガスや SAF（持続可能な航空燃料）の普及・輸出拡大等、脱炭素化が加速している。さらに、水素燃料コールドチェーンの開通や新エネ大型トラックの普及案、化学工場の省エネ化等輸送・生産のGXも進む。

一方、欧州では中国の油田プロジェクトを偽った 100 億元超のカーボンプリジット詐欺が発覚し、取引



○第三国市場展開：英国では日産工場での生産、ポーランドでは金発科技のプラス

この記事は、賛助会費 情報提供で、ご入稿時ご限定です。

Source: <http://www.fishbase.org>

賛助会員・情報提供サービス購読者の方は、

下のボタンから続きをご覧ください。

続きを読む

- ◆情報提供サービスのお申込みはこちら>
- ◆賛助会員については、こちらからお問い合わせください>